

イトヨーカドーのCSRアクション

環境配慮型素材 カトラリーの導入

石油由来プラスチック削減の取り組み



華頂 宏基

食品業務部

イトヨーカドーは、セブン&アイグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』に基づき、プラスチック対策として、食品売場で販売する商品の容器等を、バイオマスやリサイクルPET素材への切り替えや、トレーを使用しない「ノントレー素材」の採用を推進しています。

今回、4月より施行された「プラスチック資源循環促進法」への対応として、プラスチックカトラリー（※）を「環境配慮型カトラリー」に変更することにより、従来に比べて石油由来のプラスチック

使用量を25%削減しています。

（※）食品レジでお渡ししているプラスチック製スプーンやフォークなどの総称

また、イトヨーカドー各店舗では『SDGs総合ステージ』を設置し、プラスチック対策を含めた、SDGsに関する取り組みをわかりやすく紹介しています。

イトヨーカドーは今後も、衣料品や日用品、食品といった身近な商品を中心に、環境に配慮した持続可能な商品開発に挑戦してまいります。

GREEN CHALLENGE 2050
私たちの挑戦で、未来を変えよう。

イトヨーカドー
石油由来のプラスチック削減の取り組み

鮮魚売場	青果売場	精肉売場
一部容器をリサイクルPET素材に切り替えました。	一部商品で使用する包材をバイオマスフィルム素材に切り替えました。	一部商品ではトレーを使用しない「ノントレー包材」を採用しました。



関連情報

(ニュースリリース)イトヨーカドーのプラスチック対策について
https://www.itoyokado.co.jp/_resources_/d73fafa9-77d5-4485-8210-aff56ee4249c.pdf